

北東アジア学会つうしん 第39号

The Association for Northeast Asia Regional Studies Newsletter
(anears)

発行 北東アジア学会事務局

〒910-1195 福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島 4-1-1

福井県立大学経済学部 唱 新研究室

電話 0776-61-6000(内線 2507) / FAX 0776-61-6014

E-mail: anears@fpu.ac.jp / 新URL <http://www.anears.net/>



目次

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 巻頭言 林 堅太郎(立命館大学) | 4. 学会優秀論文賞の推薦 |
| 2. 第16回学術研究大会報告・分科会報告 | 5. 会員情報 |
| 3. 理事会・会員総会報告 | 6. 会費納入のお願い |

巻頭言

コモンウェルス (Common Wealth)の視野

立命館大学 林 堅太郎



漁船衝突を契機にして、尖閣諸島の領有問題が日中間の外交に留まらない国際問題に浮上した。それは、従来の歴史認識問題などとは全く異なる次元の、現代的あるいは近未来的問題である。つまり、それは領土・領海を

めぐる安全保障上の問題とともに、原油を主とする海底資源の支配と開発をめぐる問題を想定している。東アジアのみならずアジア全体、さらには援助政策とセットしたアフリカ諸国に対する中国の資源政策が近年、特段に強化されている。経済発展の桎梏になりかねないからである。

さほど時をおかずに、今度は国際社会が中国に提起した。天安門事件、その後の人権問題や民主主義を直面する中国社会の中心問題とする劉曉波氏へのノーベル平和賞授賞である。それは市場システムの拡充と併存する社会主義国家型資本主義による人間統制への異議申し立てであり、経済的自由の枠を乗り越える市民的、人間的自由への支持である。しかし、それは、新自由主義的な政策基調のもとに、経済的自由を謳歌しつつも人々に生活格差と生活困難を押し広げ、人格の否定さらには様々な人間破壊を余儀なくさせる現代資本主義社会に合流すれば、といった誘いでは更々、ない。

確かに、この二つの事件というか、事態は、現代中国社会が

直面し、解決を求められている基本課題である。しかし、私が強調したいのは、それは何も中国社会に固有の問題ではないことである。だから、その解決のための方法やアプローチを協同の努力によって着実に実行していくことが重要になっていると思うのである。

私は、歴史的な取り組みとして成功裡に開催された北東アジア学会と韓国・東北アジア経済学会の合同学会において、日本海(東海)の呼称問題に関して個人的な提案をさせて頂いた。実際に検討されるかどうかは別にして、名称は「共通海」= The Sea of Common Wealth が最適だという考えである。そこに込めた意味は、まず、共通の自然にあり、共有の資源にある。そして、この海は、私たちが自由闊達に振る舞い、評価される舞台であり、協同の努力によって創り出される富の源である。さらに、未来に向かって困難も課題も共有していくことになる持続的な共有環境である。

その周辺諸国である日中韓3国は、垂直的、そして水平的な分業を深化させることによって、とても高度な相互依存関係を既に構築している。それだけに摩擦も起こりやすいのだが、3国は、この「共通海」の含意を明瞭に認識できるし、むしろ痛切に必要とする立場にある。求められているのは、その具体化に向けて発揮されるイニシアティブである。それは東アジア共同体の構築にとって、さらにはグローバルなコモンウェルスに向かう大きな力となるだろう。

2. 第16回学術研究大会報告

北東アジア学会第16回学術研究大会は「近代日韓関係100年国際シンポジウム」というテーマで、2010年8月26～27日の2日間にわたって韓国東北亜経済学会との共催で韓国の東海市にて開催された。国際大会の開会式では日本北東アジア学会の坂田幹男会長、韓国東北亜経済学会の任千錫会長、韓国側の東海市長代理、東海戦略事業団の HONG YONG BEOM 氏、中国吉林省社会科学院の邵漢明副院長が挨拶した。

開会式の後、「21世紀北東アジア地域の協力と発展」という共通論題でシンポジウムが開催され、日本側から早稲田大学の多賀秀敏教授、韓国側から東亜大学校の金昌男教授がそれぞれ基調講演を行われた。

その後、パネル・ディスカッションが行われ、KIMJoung Gul 氏 (HanYang Univ.) をコーディネーターに、日本側の林堅太郎氏 (立命館大学教授)、蛭名保彦氏 (新潟経営大学教授)、韓国側の姜正模氏 (慶熙大学教授)、JUNG YeoCheon 氏 (KIEP 副院長) をパネリストに迎え、報告・討論が行われた。学術研

究大会の後、分科会Ⅰ、翌日の午前中、分科会Ⅱが開かれ、17の分科会で計58の報告と116の討論があり、活発な議論を行われた。

今回の共同学術大会には日本からは約60名、韓国からは約70名の方々が参加した。



分科会Ⅰ

第Ⅰ-1 分科: 北東アジア諸国の経済協力と江原道

司会: 김시중 (KIM Si-joong) (西江大学: SoGang Univ.)・竹味能成 (金沢学院大学)

発表1: 엄광열 (EOM Kwang-yeol) (江原貿易創業研究院)

環東海圏の経済交流協力増進における東海港の役目

発表2: 任千錫 (IM Chun-sok) (建国大学: KonKuk Univ.)

環東海圏時代、江原道の対外経済活性化と方向: 日本との関係を中心に

発表3: 황진회 (HWANG Jin-hoi) (韓国海洋水産開発院)

羅津港開発と北東アジア物流に及ぶ影響

第Ⅰ-2 分科: 北東アジア地域の協力と豆満江プロジェクト

司会: 홍면기 (HONG Myeon-ki) (東北亜歴史財団)・若月章 (新潟県立大学)

発表1: 邵漢明 (SHAO Han-ming) (吉林省社会科学院)

図們江地区開発と中韓経済合作

発表2: 정은이 (JOUNG Eun-lee) (慶尚大学: GyeongSang Univ.)

北朝鮮の国境地域市場に対する研究: 会霊市場の事例を中心に

発表3: 張東明 (ZHANG Dong-ming) (中国遼寧大学)

北東アジア経済協力に関する研究

第Ⅰ-3 分科: 北東アジア諸国の対外経済政策と見込み

司会: 姜正模 (KANG Jung-mo) (慶熙大学: KyungHee Univ.)・高橋和 (山形大学)

発表1: 김규판 (KIM Gyu-pan) (KIEP)

日本のアジア新興市場進出戦略

発表2: 지만수 (JEE Man-Soo) (KIEP)

中国対外経済政策の戦略的性格

発表3: 윤성학 (YUN Sung-hak) (KIEP)

ロシアの極東開発戦略と北東アジア経済協力見込み

発表4: 이재영 (LEE Jae-young) (KIEP)

モンゴルの対外経済関係と韓-モンゴル協力方策

第Ⅰ-4 分科: 北東アジア地域の投資協力

司会: 한광수 (HAN Kwang-soo) (仁川大学: InCheon Univ.)・大西広 (京都大学)

発表1: 정환우 (CHUNG Hwan-woo) (国際貿易研究院)

中国の市場進入障壁変化と持続性: 韓・中 FTA に対する時事点

発表2: Chan-Hyun Sohn, Anna Y. Eremina (江原大学: KangWon Univ.)

A Search for the Best Route for Connecting the Trans-Korean and Trans-Siberian Railways: A Cost-Benefit Analysis

発表3: 樊笛 (FAN Di) (中国東北大学)

金融危機下の韓・中・日自由貿易地域建立の可能性と挑戦

第 I-5 分科: 北東アジア地域の産業協力

司会: 백권호(PAIK Gwon-ho) (嶺南大学: YeungNam Univ.)・蛭名保彦 (新潟経営大学)

発表1: 김민수(KIM Mihn-soo) (仁川大学) / 황천사(HUANG Tian-ci) (仁川大学)

中国旅客運送産業の発展と構造的問題: 航空及び鉄道分野の相互発展方向に対する研究

発表2: FAN Qing-ji (培材大学: PaiChai Univ.)

モバイルインターネットサービスに対する韓中消費者の選択行動に関する比較研究

発表3: 한기조 (HAN Ki-jo) (東義大学: DongEui Univ.) / 유준(LIU Jun) (東義大学)

中国鉄鋼産業の対韓国競争力分析

第 I-6 分科: 北東アジア地域の金融協力

司会: 朱星煥(JU Sunng-whan) (建国大学: KonKuk Univ.)・西川博史 (北海商科大学)

発表1: 주노중 (JOO Ro-jong) / 이우영 (LEE Woo-hyun) (韓国政府調達研究院/北九州工業大学)

韓・中・日3カ国の新金融圏構築策と代案に関する考察: 21世紀に向けた北東アジア三国の金融圏改革を中心に

発表2: 김완중 (KIM Wan-joong) (東亜大学: DongA Univ.) 生産工程別東アジアの域内交易分析

発表3: 백훈 (PAIK Hoon) (中央大学: ChungAng Univ.)

北東アジアのオイルハープと金融協業

第 I-7 分科: 環東海圏の経済協力と福祉厚生

司会: 정여천 (JEONG Yeo-cheon) (KIEP)・山田一隆 (関西国際大学)

発表1: 박천익 (PARK Chun-ik) (大邱大学: DaeGu Univ.) 東アジア経済福祉モデルの特性と見込み

発表2: 김진욱 (KIM Gene-uhc) (建国大学: KonKuk Univ.)

東アジア国家の厚生水準比較分析

発表3: 한재진 (HAN Jae-jin) (培材大学: PaiChai Univ.)

中国株式市場と外国為替市場間の動態的関係分析

第 I-8 分科: 北東アジア地域の産業協力

司会: 김중걸(KIM Joung-gul) (漢陽大学: HanYang Univ.)・金子彰 (東洋大学)

発表1: 李鴻培(LEE Hong-bae) (東義大学: DongEui Univ.) 日韓部品素材産業の協力拡大のための新しいパラダイム考察

発表2: 민경식 (MIN Kyoung-sik) (韓国インターネット振興院)

融合時代の韓-日 ICT 政策の比較

発表3: 윤송한 (YOON Song-han) (長安大学: JangAn Univ.) 黄海経済自由区域に対する現況と課題

第 I-9 分科: 北東アジア地域の経済協力

司会: 이종화 (LEE Chong-wha) (公州大学: Kongju Univ.)・大津浩 (成城大学)

発表1: 孫占芳 (SUN Zhan-fang) (上海工程技術大学)

Reduce Employee Turnover: How to Encourage Airlines Employees to Stay

発表2: 한종길 (HAN Jong-khil) (聖潔大学: SungKyu Univ.) 中国進出物流企業の日韓比較

発表3: 김상욱 (KIM Sang-wook) (培材大学: PaiChai Univ.) 中国省級行政区域の効率性分析

第 I-10 分科: 北東アジア地域の地域研究

発表1: 정희석 (CHUNG Hee-suk) (聖潔大学: SungKyu Univ.)

為替変動性が中小企業の経営成果に及ぶ影響

発表2: 山中峰央 (培材大学: PaiChai Univ.)

「関東州」の人口と労働力(就業者)推計

発表3: 김성순 (KIM Seong-suhn) (檀君大学: DanKook Univ.)

韓国ファッション企業の対中国直接投資問題点と改善法案—E-Land 成功事例中心に—

分科会 II

第 II-1 分科: 北東アジア地域の平和体制と北朝鮮

司会: 高正植(KO Jeong-sik) (培材大学: PaiChai Univ.)・高田喜博 (北方圏センター)

発表1: 윤승현 (YOON Shung-hyun) (中国延辺大学)

北・中地域経済政策連携と経済協力深化分析

発表2: 張玉山(ZHANG Yu-shan) (吉林省社會科學院)

中国吉林省長吉図開發与國際通道建設

発表3: 임양택 (LIM Yang-taek) (漢陽大学: HanYang Univ.)

‘韓半島策略’: 韓・米‘軍事同盟’と韓・中‘戰略的協力パートナー’を中心に

第 II-2 分科: 環日本海(東海)経済協力

司会: 金昌男 (KIM Chang-nam) (東亜大学: DongA Univ.)・林堅太郎 (立命館大学)

発表1: 尹明憲 (YOON Myoung-hun) (北九州市立大学)

韓国のイノベーション戦略と環黄海地域における技術連携の可能性

発表2: 尹清沫 (YIN Qing-zhu)(長崎県立大学)

中国東北三省の産業構造と経済発展戦略

発表3: 方斌 (FANG Bin)(金沢星稷大学)

地方自治体における外資誘致及び企業の海外進出: 海外進出満足度の概念モデル

発表4: 斉藤久美子(和歌山大学)

極東ロシアにおける会計

第 II-3 分科: 北東アジア経済協力・I

司会: 任千錫 (IM Chon-sok)(建国大学: KonKuk Univ.)・今村弘子(富山大学)

発表1: 松野周治(立命館大学)

東アジア地域経済関係の歴史的発展と東北アジア日韓中協力の意義

発表2: 三村光弘(環日本海経済研究所)

朝鮮民主主義人民共和国の経済改革と今後の北東アジア経済交流

発表3: 朱永浩 (ZHU Yong-hao)(環日本海経済研究所)

韓国の対中貿易・投資の現状と展望

発表4: 宋涛 (SONG Tao)(金沢星稷大学)

中国における不動産バブルの形成メカニズム

第 II-4 分科: 北東アジア経済協力・II

司会: 김중걸(KIM Joung-gul)(漢陽大学: HanYang Univ.)・川口智彦(日本大学)

発表1: 桑原美香(福井県立大学)

中国地方政府間の財政格差について

発表2: 加藤健太郎(福井県立大学)

世界金融危機への中国の対応とその影響について

発表3: 龍世祥 (LONG Shi-xiang)(富山大学)

循環型国際分業について: 国際生態補償体制構築に必要な主論点の概説

討論1: 이점순 (LEE Jum-shun)(環日本海経済研究所)

発表4: 出雲雅志(神奈川大学)

ヨーロッパ統合思想とアジア共同体思想の源流

第 II-5 分科: 北東アジアの政治及び社会・I

司会: 김웅기 (KIM Woong-ki)(弘益大学: HongIk Univ.)・多賀秀敏(早稲田大学)

発表1: 佐渡友哲(日本大学)

サブリージョンとしてのメコン河流域圏: 北東アジア・サブリージョンとの比較において

発表2: 高橋 和(山形大学)

越境地域協力と国境管理

発表3: 金子彰(東洋大学)・呂 堯然(前・東洋大学大学院)

中国におけるモータリゼーションについて—日本の経験からの考察

発表4: 金早雪 (KIM Jo-seol)(信州大学)

韓国の社会保障制度成立史における「公」と「私」の位相変化: 高齢者福祉における「国家責任」と「民間参与」

第 II-6 分科: 北東アジアの政治及び社会・II

司会: 노재화 (NOH Jae-hwa)(聖潔大学: SungKyul Univ.)・前田康博(大妻学院)

発表1: 崔学松 (CHOI Hak-Song)(一橋大学・院)

現代中国の世界認識と外国語受容

発表2: 魏志江 (WEI Zhi-jiang)(中国中山大学亜太研究院)

中日韓三国の戦略信頼度分析

発表3: 芮京禄(国土交通省国土技術政策総合研究所)

東アジア諸国の越境地域政策現状と課題

第 II-7 分科: 北東アジアの歴史及び文化

司会: 고선규 (GO Seon-gyu)(選挙研修院)・沢田勲(金沢星稷大学)

発表1: 梁春香 (LIANG Chun-xiang)(東洋大学)・宇佐美信幸(東洋大学・院)

日・中・韓三国観光人口の空間分布と「二極化」現象

発表2: 山田一隆(関西国際大学)

日本から/への大学生の留学と高等教育機関の国際協力—日韓交流を中心として

発表3: 大西広(京都大学)

チベット自治区少数民族問題の現在

発表4: 權寧俊 (KWEON young-jun)(新潟県立大学)

中国朝鮮族における民族教育の現状と課題



「草原の日の出」(09年8月 中国内モンゴルにて)

3. 理事会・会員総会報告

[1]第6期第3回理事会報告

日時 2010年8月25日 19:00～21:00

場所:韓国ラ・ミルホテルソウル

(1)報告事項

①学会誌編集委員会からの報告:今村弘子学会誌編集委員長から学会誌『北東アジア地域研究』第16号の発行と英文誌『Frontiers of East Asian Studies(FES)』の当学会への移管について報告され、承認された。

②第16回学術研究大会の報告:坂田幹男会長から第16回学術研究大会(日韓共同学術大会)について報告され、承認された。

③入退会の報告:唱新事務局長・常任理事から入退会者について報告され、承認された。

(2)協議事項

①2010年度の事業報告・決算報告

唱新事務局長・常任理事から以下の2010年度の事業報告・決算報告が行われ、承認された。

【2010年度事業報告】

i 第15回学術研究大会について

日時:2009年11月21日(土)～22日(日)

場所:新潟県立大学で(新潟市)

概要:1日目 国際シンポジウム「北東アジアの危機と持続的発展—環境・開発・人権」

2日目 研究大会6分科会22報告

ii 第16回大会(日韓共同学術研究大会)の開催準備

2010年8月26日(木)～27日(金)、韓国東海市

iii 韓国北東亜経済学会との学術交流について

☆ 本学会会員3名の韓国北東亜経済学会への派遣(2009年2月)

坂田幹男(会長・福井県立大学)

堀江典生(理事・富山大学)

松村史紀(会員・大阪国際大学)

☆ 韓国北東亜経済学会会員3名の本学会第15回学術研究大会への招聘

任千錫(韓国建国大学校)

姜正模(韓国慶熙大学校)

金相郁(韓国培林大学校)

iv 北東アジア学会学生奨励賞の授与

宮田健朗(富山商船高等学校)

v 常任理事会・理事会の開催

第6期第2回理事会(新潟市、2009年11月21日)

メーリングリストによる第6期第5回常任理事会 2009年11月28日～12月12日

メーリングリストによる第6期第6回常任理事会 2010年2月18日～2月28日

第6期第7回常任理事会(2010年4月18日)

場所 福井中央公民館(アオッサ)501会議室

メーリングリストによる第6期第8回常任理事会

2010年7月12日～7月23日

第6期第3回理事会(2010年8月25日)

場所:韓国ラ・ミルホテルソウル

vi『北東アジアつうしん』の発行

第38号(2010年1月発行)

vii 学会ホームページの刷新

viii 学会会員名簿の発行

【2010年度決算報告】

②2011年度の事業計画・予算報告

唱新事務局長・常任理事から以下の2011年度の事業計画・予算報告が行われ、承認された。

i 第17回学術研究大会

日時:2011年月10日1～2日(予定)

場所:北海道北海商科大学(予定)

ii 学会誌『北東アジア地域研究』の発行

第17号の発行

iii 韓国東北亜経済学会との学術交流

第17回学術研究大会への韓国東北亜経済学会からの招聘

iv 学会優秀論文賞の選考及び授与

v 北東アジア学会学生奨励賞の授与

vi 常任理事会・理事会の開催(予定)

2011年12月 第6期第9回常任理事会

2011年04月 第6期第10回常任理事会

2011年07月 第6期第11回常任理事会

2011年10月 第6期第4回理事会

おな、必要に応じて、メーリングリストによる常任理事会・理事会の開催

vii『北東アジア学会つうしん』の発行

第39号(2010年11月発行予定)

究』配架図書館数の拡充

第40号(2011年3～4月発行予定)

会員拡充に関する取組

第41号(2011年7月発行予定)

北東アジア学会ホームページの更なる充実

viii会員名簿の発行

③2011年度第17回学術研究大会について

2011年1月 新会員名簿発行(2010年12月31日現在)

西川 博史理事から第17回学術研究大会を2010年10月

ix第7期理事選挙

1～2日に北海道北海商科大学で開催する予定である旨の報告があり、承認された。

2011年4月に選挙管理委員会立ち上げ

Xその他

④学会誌のアーカイブ化についての報告

会員サービス向上の検討

学会誌のアーカイブ化について、山田 一隆常任理事から

学会誌『北東アジア地域研究』(旧『環日本海研

報告され、承認された。

2011年度予算

[2] 2011 年度会員総会報告

日時 2010 年 8 月 27 日 12:00～13:00

場所 韓国東海市

(1) 報告事項

① 学会誌編集委員会からの報告

今村 弘子学会誌編集委員長から学会誌『北東アジア地域研究』第 16 号の発行と英文誌『Frontiers of East Asian Studies(FES)』の移管について報告され、承認された。

② 入退会の報告

唱 新事務局長・常任理事から入退会者について報告され、承認された。

③ 学会誌のアーカイブ化についての報告

山田 一隆常任理事から学会誌のアーカイブ化について報告され、承認された。

(2) 協議事項

① 2010 年度の事業報告・決算報告

唱 新事務局長・常任理事から 2010 年度の事業報告・決算報告について報告され、承認された。

② 2011 年度の事業計画・予算報告

唱 新事務局長・常任理事から 2011 年度の事業計画・予算について報告され、承認された。

③ 第 17 回学術研究大会の報告

西川 博史理事から第 17 回学術研究大会について報告され、承認された。

4. 学会優秀論文賞の推薦について

2011 年度「北東アジア学会優秀論文賞」の受賞者の選考に際しまして、学会員からの推薦(自薦を含む)という形で、候補者に関する情報(氏名、業績、その他候補の推薦理由を記載した書面)を幅広く受け付けます。今年度対象となるのは、下記の選考規定を満たすものです。なお、自薦・他薦を問いません。ふるってご推薦ください。推薦締切は 2011 年 6 月 30 日です。

推薦する会員は、推薦書の様式を学会ホームページ(<http://www.s.fpu.ac.jp/anears/>)からダウンロードし、必要事項を記入の上、学会事務局までお寄せください。

【「北東アジア学会優秀論文賞」選考規定】

1. 本学会は、環日本海研究の一層の発展を図るために「北東アジア学会優秀論文賞」を設け、毎年 1 回、当該期間(前年度 6 月 1 日～今年度 5 月末日)に発表された若手会員の優秀な論文に対して賞状と副賞を贈り、これを顕彰する。

2. 選考対象となる論文は、論文発表時の年齢が 40 歳程度までの若手会員による単著で、次の何れかの条件を満たす論文とする。ただし、大学院在学中の者は、この年齢規定の限りではない。

① 北東アジア学会誌『北東アジア地域研究』掲載論文

② 上記以外の学術誌(但し、商業誌は除く。また、レフェリー付きのものに限る)に掲載され、学会員の推薦を得た論文

3. 常任理事会は、会員の中から「優秀論文賞選考委員会」の委員長を選出し、受賞論文の推薦を依頼する。

4. 常任理事会は、「優秀論文賞選考委員会」の推薦に基づ

いて審議を行い、受賞論文を決定する。

5. 受賞者の氏名と論文名は、学会誌『北東アジア地域研究』並びに学会ホームページに掲載し、その栄誉を称える。

6. 「北東アジア学会優秀論文賞」の選考にかかわる細目規定は、常任理事会が別途これを定める。

【「北東アジア学会優秀論文賞」の選考にかかわる細目規定・応募要領】

1. 「北東アジア学会優秀論文賞」の選考対象となる論文を推薦しようとする学会員は、以下の書類一式を学会事務局に提出しなければならない。

- | | |
|-----------------------|---------|
| (1) 推薦状【別紙所定様式(様式 7)】 | 1 部 |
| (2) 論文の現物・コピー | 正副計 5 部 |
| (3) 履歴書・業績書 | 1 部 |

2. 前項の応募書類一式の提出締切日は 6 月 30 日とする。

3. 常任理事会は、会員の中から「優秀論文賞選考委員会」の委員長を選出する。選出された委員長は、若干名の選考委員を任命し、応募論文の審査を行う。

4. 「優秀論文賞選考委員会」は、常任理事会の求めに応じて、応募書類一式の提出締め切り日以降、速やかに応募論文を審査し、常任理事会に審議結果を報告しなければならない。

5. 常任理事会は、第 2 項に定める応募書類一式の提出締め切り日の直後の学術研究大会において、当該年度の「北東アジア学会優秀論文賞」を公表・表彰するものとする。

6. 「北東アジア学会優秀論文賞」受賞者には、賞状と副賞を贈り、これを顕彰する。

5. 会員情報

新入会員

一般会員

1. 李正勲(リジョンフン) 学習院大学
2. 金美花(キンミファ) トラジ文化研究会
3. 道上真有(ミチガミマユ) 新潟大学人文社会・教育

科学系(経済学部)

4. 洪慈乙(ホンザウル) 山形大学 人文学部
5. 裴光雄(ペクワンウン) 大阪教育大学教育学部

海外会員

魏志江(ギシコウ) 中国 中山大学アジア太平洋研究
院

院生会員

内山怜和(ウチヤマレオ) 福井県立大学大学院(博士後

期課程)

退会 一般会員 羽貝 正美

6. 会費納入のお願い

2011年度(2010年10月1日から2011年9月30日まで)の会費納付をお願い致します。つうしん本号に同封の会費納付のご案内で金額(過年度未納分がある方は併せてご請求申し上げます)をお確かめの上、同封の郵便振替払込書をご利用ください。なお、既に会費をご納付いただいた会員には会費納付のご案内と郵便振替払込書を同封しておりません。

なお、会費滞納額が一般会員で37,000円以上、院生会員で18,000円以上、賛助会員で80,000円以上となる会員に対しては、学会誌発送等のサービスを停止いたしますので、会費納付の励行にご理解とご協力をお願い致します。

郵便振替口座 00990-3-117008 北東アジア学会

年会費	一般会員	年額	10,000円	海外会員	年額	10,000円
	院生会員	年額	5,000円	賛助会員	年額	20,000円
	特別賛助会員	年額	100,000円			

